天塩川ブランド力向上プロジェクト

道北連携地域

【概要・目的】

天塩川周辺地域は、天塩岳にはじまり音威子府渓谷などを経て、河口域に広がるサロベツ原野に至る豊かな自然や美しい景観があります。天塩川は、幕末の探検家「松浦武四郎」による「北海道」命名の地とされ、流域は貴重な野鳥であるオオワシの越冬地やオジロワシの繁殖地などの重要な拠点であるとともに、河口から遡ること約157kmの間に人工の横断工作物が無く、その距離は日本一であることから日本有数のカヌー適地として知られており、平成16年北海道遺産に選定されています。この地域では、上流部の豊富な森林資源を活用した林業や、上・中流域の肥沃な農地に支えられた稲作・畑作が営まれ、下流域には大規模な酪農地帯が広がっており、さらに、河口近くでは、サケ・マス漁が盛んに行われているほか、環境変化等で減少したシジミ資源の回復に取り組んでいます。

しかし、こうした様々な魅力ある地域資源があるものの、都市部から離れていることや知名度の低さから、観光客やイベント集客数が低い状況にあり、地域全体で天塩川の恵みを再認識し、そこを基軸とした広域連携の取組を強化し、情報を発信していくことが必要です。このため、この地域の美しい景観や川の恵みを活かした「食」、「自然豊かな住環境」等を道内外に発信することにより、「天塩川」の価値をさらに高め、天塩川周辺地域の交流人口拡大に向けた取組を推進します。

【施策展開】

これまでの主な取組実績

■地域連携による絆の強化

・地域の方へ天塩川の魅力などを再認識してもらい天塩川愛の醸成を図るため「ワークショップ」や「フォーラム」を開催（振興局、市町村）
・首都圏や札幌市で天塩川周辺地域のプロモーション活動を実施（振興局、市町村）
・松浦武四郎生誕記念事業との連携など、道外物産販売イベントに参加、大雪資源のPR発信（振興局、市町村）
・北海道150年のキーパーソンで天塩川にゆかりのある松浦武四郎を軸に、絵本、天塩日誌等を制作し、魅力発信と天塩川愛を醸成（国、振興局、市町村）
【上記、上川】

■魅力創造・情報発信によるブランド力の強化

・北海道の名付け親「松浦武四郎」の魅力発信のため、地域と連携したワークショップやパネル展などを開催（振興局、市町村）
・三重県松阪市（武四郎の故郷）や松浦武四郎記念館等と連携した取組の推進（振興局、市町村）
・地域の活動を支えるマンパワー（地域おこし協力隊）などに対する研修会の開催（振興局、市町村）
・天塩川のHP・FB・ブログや、ロゴマークなどを活用し、天塩川周辺地域のPR活動を実施（振興局、市町村）
【上記、上川】
・北海道150年を盛り上げるための多様な主体が実施する「みらい事業」への支援（振興局）【連携地域】

今年度の主な取組（令和元年度（2019年度））

■地域連携による絆の強化

・地域の方へ天塩川の魅力等を再認識してもらい、天塩川愛の醸成を図るとともに、松浦武四郎の魅力発信のため「フォーラム」等を開催（振興局、市町村）
・天塩川にゆかりのある松浦武四郎に関する絵本等を制作、魅力発信と天塩川愛の醸成を図る（振興局、市町村）
・札幌市で天塩川周辺地域及び松浦武四郎のプロモーション活動を実施（振興局）
・天塩川流域市町村との連携によるPR動画（松浦武四郎）を作成（振興局）

■魅力創造・情報発信によるブランド力の強化

・北海道の名付け親「松浦武四郎」の魅力発信のため、地域と連携したフォーラムやパネル展などを開催（振興局、市町村）
~~・これまでの取組やネットワークを生かした、ポスト150年における天塩川流域の魅力を発信するワークショップ等の開催（振興局、市町村）~~
・QRコード等の活用により、天塩川流域への来訪を促す取組の検討（振興局、市町村）
【上記、上川】

今後の取組を進める上での主な課題

■地域連携による絆の強化

・「ワークショップ」、「フォーラム」の開催時期・方法及びその内容等、地方の方へ天塩川の魅力を再認識してもらうための継続的な工夫。このため、振興局と市町村との連携が不可欠
・首都圏等でのプロモーションの内容等、首都圏等道外の方へ天塩川周辺地域の魅力を発信するための取組に係る工夫
・来訪者の消費拡大等に繋がる効果的なプロモーション活動が必要【上記、上川】

■魅力創造・情報発信によるブランド力の強化

・地域イベントや研修会の開催方法や内容、移住交流情報誌の内容等について、市町村を初めとした関係者との継続的な連携
・天塩川周辺地域の魅力を発信するためのHP・FB・ブログ以外のPR方法やその内容等 【上記、上川】
・北海道150年の取組を活かすため、「北海道の名付け親」にとどまらない、今の時代の価値観を先取りした松浦武四郎の魅力的な人物像を生かした取組の検討【連携地域】

天塩川ブランド力向上プロジェクト

道北連携地域

【施策展開】

次年度の取組（令和2年度（2020年度））

■地域連携による絆の強化
・天塩川にゆかりのある松浦武四郎に関する絵本等を制作し、魅力発信と天塩川愛の醸成を図る（振興局、市町村）
・中部国際空港周辺地域で天塩川周辺地域の魅力発信を目的としたプロモーション活動を実施する（振興局）

■魅力創造・情報発信によるブランド力の強化
・天塩川にゆかりのある松浦武四郎に関する絵本等を制作し、魅力発信と天塩川愛の醸成を図る（振興局、市町村）

【上記、すべて上川地域】

【ＫＰＩの状況】

	H26（基準）	H27	H28	H29	H30	R元	R2（目標）
○移住体験者滞在日数（延べ日数）　連携地域	4,517日	4,804日	3,562日	4,999日	3,983日		8,100日
		進捗率　59.3%	44.0%	61.7%	49.2%		
上川地域	2,997日	3,813日	2,804日	3,387日	3 ,168日		5,390日
		進捗率　70.7%	52.0%	62.8%	58.8%		
留萌地域	715日	232日	151日	793日	333日		1,310日
		進捗率　17.7%	11.5%	60.5%	25.4%		
宗谷地域	805日	759日	607日	819日	482日		1,400日
		進捗率　54.2%	43.4%	58.5%	34.4%		
○観光入込客数（天塩川周辺地域）　連携地域	308万人	307万人	298万人	302万人	292万人		313万人
		進捗率　98.1%	95.2%	96.5%	93.3%		
上川地域	240万人	240万人	233万人	234万人	227万人		244万人
		進捗率　98.4%	95.5%	95.9%	93.0%		
留萌地域	29万人	23万人	23万人	23万人	22万人		30万人
		進捗率　76.7%	76.7%	76.7%	73.3%		
宗谷地域	39万人	45万人	42万人	45万人	43万人		39万人
		進捗率115.4%	107.7%	115.4%	110.3%		